

休日はどう過ごす？

○目標となる資質・能力

自治集団づくりに資する力、思いや考えの表現力、コミュニケーション能力

○指導のねらい

集団決定の方法を学ぶグループワーク。相手の意見を尊重し、少数意見にも配慮しつつ、折り合いを付けながら合意形成（コンセンサス）を図ることで、自治的な話し合い活動を尊重しようとする態度を育む

○準備するもの

ワークシート（2枚）×生徒数、カード（17枚）×グループ数、解答×グループ数

○教育課程、実施時期

特別活動、学級会のオリエンテーションなど自治的な話し合い活動を行うとき

○留意点など

多数決や諦めではなく、話し合って合意することに留意する

展開例

	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	1 本時の学習を知り、見通しを持つ	・話し合いをして全員で決めるときに大切なプロセスについて学ぶことを伝える
展開 40分	一人一人の力を合わせて、グループの力をためそう 2 ゲームの説明を聞く 【課題】 18才から24才の若者に「休みの日をどのように過ごすことが多いですか」と聞きました。1から17位まで順位を予想しましょう。 3 自分の意見をもつ 4 グループの意見を決める 【合意形成（コンセンサス）】 ①全員の考えを最後まで聞く ②違う考えを否定しない ③多数決では決めない ④少数意見は貴重なのでよく聞く ⑤強く意見を言う人の言いなりにならない ⑥意見を聞いてなるほどと思ったら自分の考えを変える 5 グループの意見を発表し、解答を知る	・課題を提示し、全員で確認させる ・ワークシートを配布し、言葉の意味が分からない場合の質問にのみ答える ・イメージしにくい生徒にはカードを見るように伝える ・ここでは他の人と相談しないよう注意する ・時間内に1位から17位を付けられるよう、机間指導をしながら声かけをする ・合意形成による話し合いで大切にすることを確認する ・グループ全員の意見（順位）を交流し合う ・作業時間（終了時間）をあらかじめ伝え、黒板等に分かりやすく表示する ・教員はファシリテーター役として時間管理を行いながら、グループ活動で望ましい言動があれば随時全体に知らせ、子どもに新たな視点や気づきを与える ・理由を説明しながら発表し、グループの結論を出した過程やエピソードなども発表させる
まとめ 5分	6 学習を通して自分がどのように関わり、メンバーがどのような働きをしたかについて、気づいたこと、考えたことを振り返り、感想をワークシートに記入する	・時間があれば、グループ内で交流させる ・一人で考えたときよりもグループで考えた方が様々な視点で物事を考えることができる」と知らせ、物事を決める際には全員で話し合い、全員で決めることが大切であると伝える

○「集団決定の方法を学ぶグループワーク」について

本授業案の目的は、与えられた課題について話し合い、意見を重ねる中でグループ全員の合意形成を得ることにある。互いに自分の意見を言い合えることができ、仲間の意見もしっかりと聞かなければ、グループの意見をまとめることは困難となる。課題についてグループで合意し決定する過程で、自分やメンバーがどのような役割でどのような働きをしたかを振り返ることで、グループの成長を目指すねらいがある。

○「自分の意見をもつ」について

合意形成を促すには、各自が自分の意見を持っていることが重要となる。そのため、時間内に全員が記入できるよう声かけを行う。順位を決定した理由も考えさせることで、その後のグループの意見を決める際に、合意形成しやすくなる。今回設定した課題は「若者の休日の過ごし方」に対する調査である。附属のカードは、質問がイメージしにくい生徒にはカードのイラストを見て理解を促すこともでき、その後の合意形成の過程でも活用できる。ただし、カードを用いなくても、本授業案は実施可能である。

○「グループの意見を決める」について

グループの意見を決める際の約束として、①から⑥までの内容を確認しておく。少数派の意見に耳を傾けたり、相手の意見を受け入れたりする態度の育成、集団に主体的に関わる態度などを育むねらいがある。合意形成は、順位を出すという結論そのものではなく、話し合いの過程や話し合う態度に意味があるので、十分な時間を確保する。ただし、合意形成を行う際に大切なことは時間制限を設けることである。時間内に結論を出すことで、妥協点を見つけたり、折り合いを付けたりするのに有効な手立てとなる。

また、教員はファシリテーター役として、時間管理と活動の支援を行う。具体的には、「まだ〇つしか決まっていますが間に合いますか」「あと5分です」などの時間に関する声かけと、「全員の意見を聞くように声かけをしているグループがあります」「他の人の意見を聞いて、なるほどと納得した人がいます」など、各グループでの望ましい言動を全体に知らせることで、新たな視点や気づきを促す役割がある。なお、制限時間については、必ず時間を守らせることが重要となる。時間切れで答えが出ない場合もあるが、話し合いのプロセスや態度について気付かせることがねらいであるため、答えが出なかった経緯について考えさせる機会にもなる。

○「グループの意見を発表し、解答を知る」について

グループで決定した順位を理由と共に発表させる。結論を出す際に苦労した点や工夫した点についても発表させることで、合意形成を図る際のグループとしての気づきを促したい。なお、グループの決定した順位については、黒板等に記入し、各グループの違いや正解との差を比較すると良い。時間があれば、正解との差を計算して、より正解に近いグループを共有したり、他の国と比較させたりすることもできる。

○「振り返り」について

振り返り際には、個人の視点と集団の視点とを考えさせる。本授業案はより正解に近いグループを共有することが目的ではなく、自分がどのように関わっていたのかを振り返らせることで、人との接し方の癖について考えるきっかけになる。例えば、明確な理由を持っていたにも関わらず、積極的に話さなかったために、グループの予想と正解との誤差が大きい場合、その原因に気付かせ、今後どのようにすれば良いかについて考えさせたい。集団の視点については、良い点に目を向けさせることで、丁寧に話を聞き、その意見を全員で吟味すること、そして、全員が納得することの大切さについて気付かせたい。振り返りの手順としては、附属のワークシートの破線部までを記入させ、交流させた後に、合意形成を行う上での気づきを書くことが望ましい。

なお、本授業案の課題については、様々な設定が考えられる。例えば、学級内で「学級の思い出」「好きな給食」等をあらかじめランキングを取っておき、その順位を予想する、あるいは、「非常持ち出し袋に入れるアイテム」「雪山登山に持っていくもの」等、正解のないテーマで考えることもできるので、工夫されたい。

○「楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動 中学校編」(文部科学省)

○「第8回世界青年意識調査」(内閣府)

休日はどう過ごす？

年 組 番 名前

2007 年の調査です。当時 18 才から 24 才の若者に聞きました。

「あなたは休みの日をどのように過ごすことが多いですか。下の項目から、いくつでも選んでください」

さて、1 番多く選ばれた項目はどれでしょうか。予想した順位を「1」から「17」まで表に記入してみましょう。

【話し合いを進めるときの約束（合意形成のルール）】

- ① 全員の考えを最後まで聞く ② 違う考えを否定しない ③ 多数決では決めない
- ④ 少数意見は貴重なのでよく聞く ⑤ 強く意見を言う人の言いなりにならない
- ⑥ 意見を聞いてなるほどと思ったら自分の考えを変える

	自分の予想	グループの予想
① 特に何もしないで寝ころがって過ごす		
② テレビや雑誌を見てのんびりする		
③ 友だちと一緒に過ごす		
④ 恋人と一緒に過ごす		
⑤ 家族と一緒に過ごす		
⑥ 読書をしたり音楽を聴いたりする		
⑦ ピアノやギターなどの楽器を演奏する		
⑧ 料理や工作など趣味を楽しむ		
⑨ ショッピングを楽しむ		
⑩ スポーツ観戦や映画鑑賞をする		
⑪ スポーツをして楽しむ		
⑫ ハイキングやドライブに出かける		
⑬ 奉仕活動や宗教活動に参加する		
⑭ トランプやテレビゲームなどをする		
⑮ カラオケなど娯楽施設で過ごす		
⑯ パソコンやインターネットを使う		
⑰ 勉強する		

休日はどう過ごす？

【振り返りシート】

年 組 番 名前

自分を振り返ってみましょう

今日の自分を振り返り、一番合う部分に○を付けましょう	よく できた	できた	あまり できな かった	できな かった
① 自分の意見をもつことができましたか				
② グループの中で進んで意見を言えましたか				
③ 仲間の意見を進んで聞こうとしましたか				
④ グループの中で自分の意見は生かされましたか				

上の振り返りを参考に、自分はどのように話し合いに参加したかを書きましょう。

これから話し合いの際にはどのように参加したいか書きましょう。

グループを振り返ってみましょう

グループでの活動を振り返り、当てはまる人を書きましょう。 (自分の名前を入れても構いません。)	
① 意見をまとめようとしていたのは誰ですか	さん
② たくさん意見を出した人は誰ですか	さん
③ みんながなるほどと思った意見を出した人は誰ですか	さん
④ 他の人の意見をほめた人は誰ですか	さん
⑤ 仲間の意見をしっかりと聞いていた人は誰ですか	さん
⑥ グループのために働いていた人は誰ですか	さん

話し合いをする中で、今日の授業で気付いたこと、考えたことを書きましょう

①  <u>特に何もしないで 寝ころがって過ごす</u>	②  <u>テレビや雑誌を見て のんびりする</u>	③  <u>友だちと 一緒に過ごす</u>	④  <u>恋人と 一緒に過ごす</u>	⑤  <u>家族と 一緒に過ごす</u>	⑥  <u>読書したり 音楽を聴いたりする</u>
⑦  <u>ピアノやギターなど の楽器を演奏する</u>	⑧  <u>料理や工作など 趣味を楽しむ</u>	⑨  <u>ショッピングを 楽しむ</u>	⑩  <u>スポーツ観戦や 映画鑑賞をする</u>	⑪  <u>スポーツをして 楽しむ</u>	⑫  <u>ハイキングや ドライブに出かける</u>
⑬  <u>奉仕活動や 宗教活動に参加する</u>	⑭  <u>トランプやテレビ ゲームなどをする</u>	⑮  <u>カラオケなど 娯楽施設で過ごす</u>	⑯  <u>パソコンやインター ネットを使う</u>	⑰  <u>勉強する</u>	

休日はどう過ごす？

2007 年の 18 才から 24 才の若者の「休日の過ごし方」は下の表のような結果でした。予想は当たっていましたか？

項目	日本	日本 (男性)	日本 (女性)	韓国	アメリカ	イギリス	フランス
① 特に何もしないで寝ころがって過ごす	④ 32.9%	34.2%	31.7%	26.0%	② 52.1%	32.0%	33.6%
② テレビや雑誌を見てのんびりする	② 52.4%	50.6%	54.2%	③ 43.0%	③ 49.2%	② 46.6%	36.5%
③ 友だちと一緒に過ごす	① 64.1%	64.7%	63.6%	① 66.3%	① 63.2%	① 61.8%	① 72.6%
④ 恋人と一緒に過ごす	⑨ 28.2%	27.0%	29.3%	28.5%	42.0%	36.7%	③ 46.1%
⑤ 家族と一緒に過ごす	⑥ 31.9%	20.6%	42.9%	25.8%	47.1%	40.8%	42.1%
⑥ 読書をしたり音楽を聴いたりする	④ 32.9%	31.6%	34.2%	19.0%	32.3%	28.0%	41.9%
⑦ ピアノやギターなどの楽器を演奏する	⑮ 8.5%	9.9%	7.2%	5.0%	9.1%	5.2%	8.5%
⑧ 料理や工作など趣味を楽しむ	⑮ 6.1%	3.3%	8.9%	16.4%	21.1%	13.7%	11.2%
⑨ ショッピングを楽しむ	③ 37.1%	25.8%	48.0%	18.1%	39.2%	③ 41.0%	28.0%
⑩ スポーツ観戦や映画鑑賞をする	⑧ 29.8%	30.7%	29.0%	40.7%	39.7%	28.5%	26.6%
⑪ スポーツをして楽しむ	⑪ 20.6%	29.9%	11.4%	18.8%	22.7%	24.3%	30.9%
⑫ ハイキングやドライブに出かける	⑫ 18.4%	19.3%	17.6%	5.6%	20.2%	9.9%	6.9%
⑬ 奉仕活動や宗教活動に参加する	⑰ 1.7%	1.1%	2.4%	11.8%	13.2%	2.9%	1.9%
⑭ トランプやテレビゲームなどをする	⑭ 10.1%	14.7%	5.6%	6.4%	24.4%	15.5%	14.1%
⑮ カラオケなど娯楽施設で過ごす	⑩ 20.9%	23.8%	18.1%	8.9%	9.0%	8.3%	1.4%
⑯ パソコンやインターネットを使う	⑦ 31.8%	34.0%	29.7%	② 55.6%	39.1%	28.4%	② 47.5%
⑰ 勉強する	⑬ 17.8%	19.0%	16.7%	15.6%	24.7%	7.9%	16.0%